

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2026年5月17日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌525「恵み深き主のほか」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌399「悩む者よ」	一 同
教会学校	絵本「迷子になった小羊」	牧 師
讃 美	讃美歌514「弱き者よ我に全て」	一 同
聖書朗読	詩篇22:1-5 (口語p.764)	
奨 励	2026沖縄・全国大会報告	牧 師
主 題	「愛によって働く信仰」	
讃 美	讃美歌461「主われを愛す」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌543「主イエスの恵みよ」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	詩篇第15篇	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

5/17(日) 聖日礼拝
/18(月)
/19(火)
/20(水)
/21(木) 10:00 聖研
/22(金)
/23(土) 13-16子供オプハウス



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「新幹線から各駅停車へ」

(北森嘉蔵「聖書の読み方」p.10-11)

感動したところで停車する

各駅停車から新幹線へ、というならよくわかる。しかし、新幹線から各駅停車へ、というのはどういうわけだろう。…このたとえを、私は聖書の読み方に使っているのである。はじめて聖書を読むときには、わかる箇所はほとんどないといってよいのではなからうか。これはちょうど、新幹線ですっ飛ばすようなものである。停車する駅はほとんどない。感動して立ちとどまる聖書の箇所はほとんどない。すっすっ、飛ばして読む。これが偽らない実情である。私は、それでも仕方がないと思う。この実情を踏まえて出発するほかないと思う。

聖書は、感動して立ちとどまる箇所に出会うまでは、新幹線のように読むほかない。それを無理して、感動もしない箇所に各駅停車して立ちとどまろうとすると、その無理がたたって、まもなく嫌気がさし聖書をほうり出してしまふことになるであろう。

これを裏からいえば、聖書はかならず感動して立ちとどまらざるをえない箇所をふくんだ書物だということを、信頼していることになる。かならず停車する駅がくるから、それまではノン・ストップで飛ばしてもかまわないということである。このおおらかな信頼が、あの大胆な発言をさせるのである。「おおらかな信頼」は祝福感にみちたものである。この祝福感に文字どおり「福音」にふさわしいものである。聖書は本来この福音をメッセージとしている。

したがって、聖書はその読み方についても、福音にふさわしく、祝福感にみちたものであるはずである。「各駅に停車せねばならない」、「聖書のあらゆる箇所について感動せねばならない」という義務感は、福音とは対立的な戒律のひびきがする。いわゆる「律法的」である。律法と福音との対決は、聖書の主要テーマである。そのことは、聖書の内容にはいる前に、聖書の読み方についても当てはまる。